



東京たま広域資源循環組合

## CONTENTS

- 表紙
- 中面
  - ・谷戸沢処分場における自然再生の取組が「自然共生サイト」に認定されました
  - ・エコセメント化施設の設備改良工事中の一時埋立・掘起しについて
  - ・見学会レポート
- 裏表紙
  - ・日の出町だより
  - ・循環組合からのご報告



「自然共生サイト」についての詳細は2面をご覧ください

### 特集

# 谷戸沢処分場における 自然再生の取組が 「自然共生サイト」に認定されました

東京たま広域資源循環組合は二ツ塚処分場・谷戸沢処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。日の出町の皆様のご理解とご協力をいただきながら、多摩地域25市1町、約410万人のごみの焼却灰を、全量エコセメントにリサイクルし、資源循環を図っています。また、不燃ごみモリサイクルの進展により、平成30年度から埋立てていません。

多摩地域25市1町のごみの焼却灰は、

**日の出町**にある  
エコセメント化施設に運ばれ、  
リサイクルされています



組織団体

八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稻城市、羽村市、西東京市、瑞穂町

2025  
12  
月号  
vol.86

# 谷戸沢処分場における自然再生の取組が「自然共生サイト」に認定されました

谷戸沢処分場は、多摩地域25市1町のごみの最終処分場として、林地を切り開いて埋立地が造成され、昭和59年から平成10年4月まで埋立てを行ってきました。埋立て終了後も適切な維持管理を継続して行うとともに、ごみの埋立てにより失われた里山的自然環境の再生のため、清流復活用貯水池やビオトープを設置するなど、生態系を豊かにする取組を続けた結果、現在では、豊かな里山の生態系が再生しています。

これらの取組により、生物多様性が維持されていること等が評価され、令和7年9月16日に内陸の管理型最終処分場では初めて「自然共生サイト※」に認定されました。

しかし、約14年間にわたって埋め立てられた廃棄物が地中に今も存在しているため、閉鎖管理をしており、誰でも自由に立ち入ることができる場所ではありません。今後も当組合は地域の方々のご理解とご協力のもと、谷戸沢処分場の適切な維持管理を行うとともに、生物多様性を維持・増進する活動に継続して取り組んでいきます。また、様々な見学会を通して、廃棄物処理の経過や処分場の現状等を知るとともに、自然の大切さを学んでいただく機会を多摩地域の皆様に引き続き提供してまいります。



埋立造成中



現在

※「自然共生サイト」とは、生物多様性の損失を止め、反転させるネイチャーポジティブ実現に向けた取組として、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づき、企業の森や里地里山、都市の緑地など民間の取組等による生物多様性を増進する活動計画を環境省が認定する制度です。認定された活動の実施区域を「自然共生サイト」と呼びます。

## 谷戸沢処分場における自然再生の取組

### Nature restoration efforts



# エコセメント化施設の設備改良工事中の一時埋立・掘起しについて

東京たまエコセメント化施設は、稼働から約20年が経過し、引き続き将来にわたって安定的に操業していくための各設備・機器の保全が課題となっています。

このような状況を踏まえ、今年8月に契約し、令和8年10月頃から令和13年3月にかけて、エコセメント化施設の設備改良工事を実施します。それに伴い、年間100日程度、工事のために施設を停止しますが、その間も25市1町からの焼却灰の受入を止めることのないよう、場内に埋立関連施設を整備し、一時埋立・掘起しを行うことで実質埋立ゼロを継続していきます。

今回は、その一時埋立・掘起しの方法・流れについてご紹介します。次回以降、設備改良工事に関する情報もお知らせしていきます。



## ■エコセメント化施設関連工事スケジュール(予定)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
設備改良	準備・設計期間	●				
	施設停止		● 100日程度	● 100日程度	● 100日程度	● 100日程度
埋立関連施設	埋立関連施設建築工事	●	●			
	一時埋立		●	●	●	●
掘起し工事		●	●	●	●	●
		●	●	●	●	●

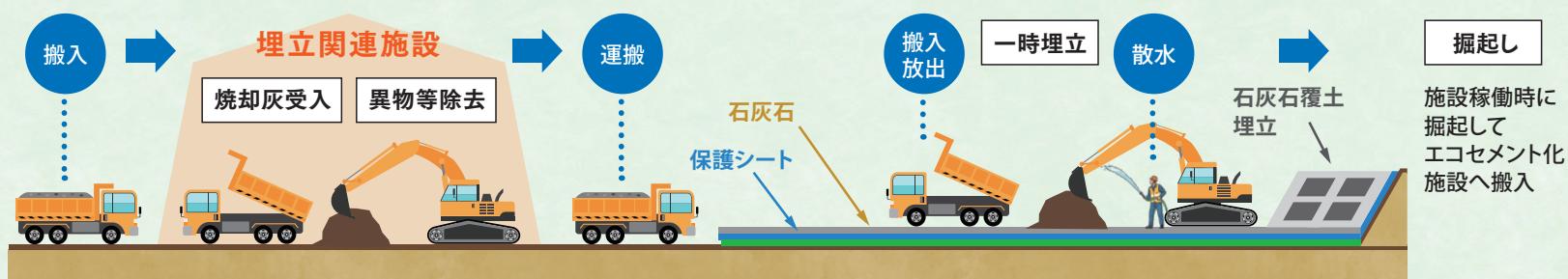


「埋立関連施設」整備のイメージ

## 工事期間中の一時埋立・掘起しの流れ(湿灰受入の場合)

- 埋立関連施設（集じん装置付きテント建屋）を場内に設置し、環境に配慮した埋立・掘起しを実施します。

- 一時埋立の際は、石灰石を用いた覆土を行い、施設稼働時に掘起しをして全量エコセメントにリサイクルします。



## オオムラサキ見学会

2025年6月28日(土)開催

## 見学会レポート 参加者の声

国蝶オオムラサキ

日の出町の人達に感謝だなと感じた。  
これからも自然を守ってほしい。

ツアーリーに参加でき、  
本当にラッキーでした。  
環境や生物やごみ問題など  
視野が広がりました。

見事に自然再生ができているのでおどろいた。  
地元住民の方の理解があつて私達のごみが  
処理されていることを知り感謝しています。

清掃工場の見学

ごみ処理の一連の流れについて、  
学び直しができてよかったです。  
3Rに向けての自分の意識も  
大きく変わりました。

## 夏休み処分場見学会

2025年7月31日(木)、8月5日(火)、8月7日(木)開催

日の出町の住民の方々が大変な思いをされて  
受け入れて下さったことが、お話をよく分かり、  
大変感謝の気持ちとともに、これからのごみ問題に  
責任を持ち、子供と考えるよい機会となりました。

地元環境指導員による講話

私達の最終処分場が日の出町にあることをはじめて知りました。  
日の出町住民の方のゴミは入らないということを知り、  
住民の方とのコミュニケーションの重要さを痛感しました。



## 冬の夜を彩る☆大久野イルミネーション

大久野イルミネーションは、地元の有志による実行委員会が主催するイベントで、大久野地区の冬を彩る風物詩として親しまれています。秋川街道沿いかやくば交差点から太平洋マテリアル(株)ミネラルファイバー工場前までの街路樹にイルミネーションが灯されるほか、こども未来公園には高さ12mのシンボルツリーが、大久野小学校正門前には長さ15mの光のアーチがお目見えし、イルミネーションに花を添えます。

また、沿道の家々も色鮮やかなイルミネーションで飾られ、暗い真冬の夜道を明るく照らします。

21年目の今年は、11月29日(土)から年明け1月17日(土)まで点灯します。

また、12月20日(土)の夜にはクリスマスの夜空に花火を打ち上げます。沿道にはキッチンカーや地元商店の皆さんが出店しますので、詳しくは大久野を明るくする会のホームページをご覧ください。

### 大久野イルミネーション2025

- 開催日 11月29日(土)～令和8年1月17日(土)  
午後5時00分～午後10時00分
- 問合せ先 大久野を明るくする会ホームページより  
お問合せください

大久野を  
明るくする会  
HP▶

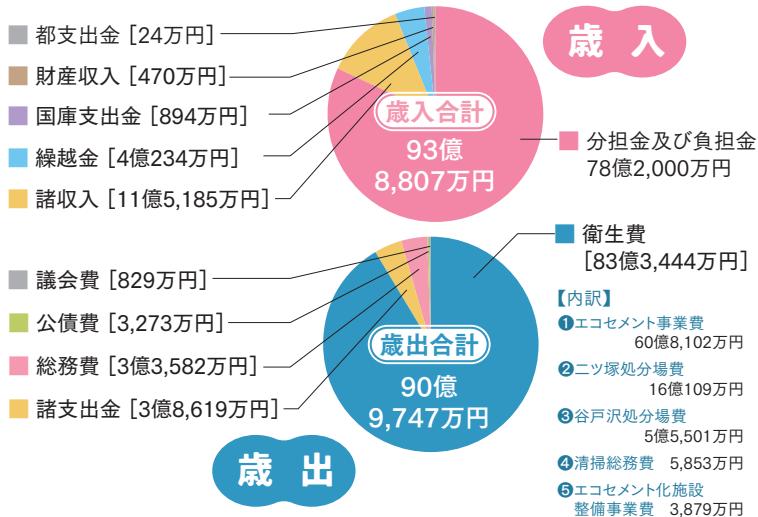


## 循環組合からのご報告

### 令和6年度決算

決算額は、歳入が93億8,807万円(前年度比約4.1%増)、歳出が90億9,747万円(前年度比約5.5%増)となりました。

歳出の主なものは、エコセメント事業に関する経費ですが、原材料費高騰により前年度と比較して約2億5千万円の増額となっています。



### 議会の報告

循環組合の議員は、組織団体25市1町の議会議員の中から選出されています  
令和7年第1回組合議会臨時会(令和7年7月22日開催)

番号	件名	議決結果
議案第9号	専決処分(東京たま広域資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
議案第10号	専決処分(東京たま広域資源循環組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
議案第11号	エコセメント化施設基幹的設備改良工事及び運営事業建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第12号	監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて	同意

### 令和7年第2回組合議会定例会(令和7年10月27日開催)

番号	件名	議決結果
議案第13号	専決処分(東京たま広域資源循環組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
議案第14号	専決処分(東京たま広域資源循環組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
議案第15号	令和6年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第16号	令和7年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決
—	議員派遣について	可決

### 循環組合の動き

令和7年	内容	令和7年	内容
6月3日(火)	第53回循環組合技術委員会	9月25日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
6月19日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会	9月26日(金)	第22自治会ニッ塚処分場対策委員会
6月20日(金)	第22自治会ニッ塚処分場対策委員会	9月29日(月)	環境データ公表(令和7年度第1四半期分)
6月27日(金)	令和7年第2回正副管理者会議	9月30日(火)	令和7年第3回正副管理者会議
6月27日(金)	環境データ公表(令和6年度分)	10月16日(木)	令和7年第3回理事会
7月10日(木)	令和7年第2回理事会	10月27日(月)	令和7年第2回議会定例会
7月22日(火)	令和7年第1回議会臨時会	12月5日(金)	第54回循環組合技術委員会
8月26日(火)	第49回谷戸沢処分場環境影響評価委員会		

## 東京たま広域資源循環組合

〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642番地  
TEL 042-597-6152 FAX 042-597-7886 電子メール [toiawase@tama-junkankumiai.com](mailto:toiawase@tama-junkankumiai.com)

next たまエコニュース次回発行予定 ▶ 2026年6月

循環組合では、皆様のご意見などを待ちしています。

お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース係」と明記の上、左記あて先にお送りください。

処分場の敷地内や周辺の土壤、水質など環境調査の結果を循環組合ホームページで公表しています。

循環組合 <https://www.tama-junkankumiai.com/>